

## 市長の意見交換会<相川地区> 質疑要旨

日時：令和7年11月29日（土）16：00～17：00 会場：相川支所災害対策室

参加人数：29名（下記市職員は含まない）

佐渡市：渡辺市長、岩崎総務部長、北見企画部長、平山財務部長、相川支所 森川ほか6名

### 1. 市政について

市長より説明	(説明内容)
	<p>1 佐渡市の現状について…人口減少の加速化、少子高齢化について</p> <p>2 佐渡市が目指す島づくりについて…持続可能な島 佐渡の実現に向けて（地域循環共生圏の創出）</p> <p>○安心して暮らし続ける島について</p> <p>(1)元気な経済と多様な人が活躍する島…労働力確保と移住・定住・交流人口拡大</p> <p>(2)子どもから高齢者まで夢や希望が持てる島…①子どもを産み育てやすい島 ②健康寿命日本一</p> <p>○教育について…地域教育の推進 佐渡を知り誇りに思う人づくり</p> <p>○行財政改革（効果的なダウンサイ징）について…(1)公共施設の見直し (2)組織見直しと業務効率化 (3)財政基盤の確立</p> <p>○インフラ整備について…(1)汽船について (2)病院について (3)水道について</p> <p>3 市長の仕事について…(1)新しい制度設計も含めて国と考える (2)地域の課題をしっかりと国に上げて政策として組み立て (3)佐渡は日本が抱える課題の先進地、他よりも先にこれらの課題を解決</p>

### 2. 質疑

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
(沢根)	佐渡は面積が広いのに人口が少ない。水道を維持する、あるいは交通体系を維持するというのは無理があるし非常に厳しい。常識のことではほぼ維持することは難しいと思う。市長が考える、これぞというアイデアがありましたらお聞かせください。	<p>交通体系については、大分議論していく、今取り組もうとしているのは、人が乗らないところは必要な時だけ白ナンバーで運行すること。また、バス会社等は少ない運転手でも利益が出るように、本線や南線、小木線などの主要幹線に絞って、もっと便利よくする。そして、便利がよくなれば市の職員も通勤をバスにすることも考えられる。</p> <p>今、投入している補助金を原資に、コストをかけずに周辺部等から主要幹線まで繋ぐことができないかという議論をしている。</p> <p>水道は、3戸ぐらいしかない集落だったら、配水池に水を運ぶ方法もある。そういう議論をしながら、今までにないやり方で、ゼロからコストを違う面で考えてやっていくということを議論している。交通体系は、来年ぐらいには一つの形を作っていくたいと思っている。</p>	交通政策課 上下水道課
(沢根)	<p>非常識きわまりない考え方かもしれないですが、集落に3戸しかいないところは、国中方面へ集団移転などをして、島全体でダウンサイ징する感じで統一化を図るという考え方はどうか。</p> <p>当事者の意思は分かりませんが、むしろ当事者にとっての利便性を考えると、そういう痛みを伴うこともあつた方がいいのかなと思うがどうか。</p>	<p>現実にあるのが、冬の間は町場にいて、夏になると自分の家に帰るという生活で、これから出てくるだろうと思っている。</p> <p>ただし、それには本当に人の住むという権利の問題と、集団移転の問題があるので、高齢化やひとり暮らしなどといった問題に向けて、どう考えていくのかいろいろな議論がある。季節によって生活の拠点を変えるというやり方はあるが、集団移転的なものは佐渡ではまだなじまないと思っている。</p> <p>やはり当事者の意思である。今の日本の法律では簡単ではないと思う。</p>	地域産業振興課

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
(沢根)	市役所の職員に、要望などを言っても、【市民から言われてもほぼやらないけど、市長から言われると即動くのが公務員】というイメージがあります。だから大事なものは市長まで上がって動くが、市長に上がってこないものに関しては動かない。ほぼ忘れ去られる現状を無くすべく、すぐに対処できる組織づくりをしてほしい。	できることはすぐ、できないことはできるように、ということでやっている。できないこともいっぱいあると思うが、やれるように。予算は、現場でどの程度必要か、優先順位の高いものからやっているかもしれない。 なかなか難しいこともあるが、職員には、できないことには説明をきちんとするということで話をしているので、そのようなことがないよう取り組んでいく。	総務課
(相川下戸炭屋浜町)	相川に温泉の源泉があるのに、なぜ温泉施設を閉鎖するのか。	すでに民間に譲渡しているので、公共施設ではない。今後のことは民間で検討されている。	総合政策課
(相川下戸炭屋浜町)	奉行所の周りで松枯れが起きているが、それを何とか助けてもらいたい。	順次、予算の範囲内で伐採等の対応を進めていく。	文化スポーツ課
(相川鹿伏)	病院とか水道は、民営化になるのが怖いと思っている。儲けがないと民間はやっていけないから、お客様を増やそうとしたり、多く儲けようとしたりするので、なるべく、公共でやってもらった方が良いと思う。	一般的にそう見えるが、公務員にやらせると経済観念がなくなってしまう。本来の経営合理化とか、そういうものに対して非常に弱い。民間と官の違いは安定して事業を開拓することが非常に重要になる。ただ、その責務を果たしながら、やはり効率的な運営をしていくことも非常に大事である。 もし佐渡市に余裕がなくなったら、病院の赤字を見られなくなる。やはりそういうものを含めていくと民営化が必要だと思う。ただ、両津病院とかを今民営化するという予定はない。官で支えるしかないと考えている。 水道も、宮城県などが、一部業務委託をしているところもあるが、それでも利益が出ない。官でやらなくてはいけないものも当然あるし、そこを優先に考えながら取り組んでいくことになるので、決して全てが民で、ということではない。 民でできるものはできるだけ民を生かしていく、民を支えていくことが大事だと思う。	両津病院 健康医療対策課 上下水道課
(相川塩屋町)	相川診療所の整形外科の電気をかける機械が傷んでいる。直してくれないので通えずにいる。早く直してほしい。	現場の方で必要予算かどうかをチェックしている。また確認して、必要かどうか検討する。	両津病院 相川診療所
(相川下戸炭屋浜町)	他の人が事前提出した意見も見ることができるのか。 効果的なダウンサイ징で具体的に進んでいるものはあるのか。	この会が終わった後に、全体として、ホームページで公開する。  相川で閉校となる小学校があるが、学校というのはあまり小さくしても、財政効果は少ない。結構交付税をもらっている。子供たちの教育を考えると、小学校は複式学級が無いように、中学校は1学年2学級を基本に合併を見直すよう、説明してきている。 その他、公共施設の中で体育館とかホールとか、そういうものの必要性も含めていろいろ考えていくが、まだ数字を出している段階なので、簡単にこれをなくすとか、なくさないということではないので、大きな案ができたら、また説明会をして意見をお聞きしたい。 民の活力を生かせるものはできるだけ民に移行していくたいと思う。	総務課 総合政策課 財産管理課 教育総務課
(稻鯨)	七浦小学校が閉校になる。現在二見地区で災害があったときに、七浦小体育館が避難場所になっているが、防災課長に避難場所がどこになるのか早く決めてほしいと相談をしたが、半年経っても連絡が来ていない。	すぐ対応する。 (後日、防災課で今後、避難所をどうするか地区代表と協議を行い、引き続き協議を続けていくことになった。)	防災課

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
(戸地)	金泉小学校も閉校になるので、七浦小学校と同じく対応をお願いしたい。	すぐ対応する。基本的にはそういうところを使っていくということになると思うので、そうすると維持管理をどうするのか、という話にもなると思う。それがなくなったからと言ってよそへ行け、ということには簡単にはならない。距離の問題もある。そこはきっちと示せるようにする。 (後日、防災課で今後、避難所をどうするか地区代表と協議を行い、引き続き協議を続けていくことになった。)	防災課
(達者)	1. 閉校になる金泉小学校について、今後の活用方針はあるか。地域のまとめ要望については、来年、金泉小学校の関係集落各総代及び役員が交代し各集落の総会などにおいて、ある程度の要望が出されると思われるが、このことについても市より何らかのアクションをお願いしたい。 現在、指定避難場所や各選挙の投票所（達者・姫津・北狄）等に活用している。今年は閉校記念事業として、大運動会や、体育館壁画製作等で父兄や地域住民が参加し、地域コミュニティの場としての重要な施設として再認識した。 今後、金泉地区の需要施設として、立地条件を生かした有効活用を提案・提示していただき、地域とともに維持管理していく方向でお願いしたい。 2. 公共用地跡地・旧温泉施設（民間）等の活用と今後について旧相川町役場跡地や旧警察官舎跡地について、市の活用（整備）構想があれば説明をお願いしたい。 また、民間に払い下げた旧温泉施設は今後どうなるのか、情報があれば示されたい。 公有地造成で整備された今後も有効活用すべき重要なエリアで現状は有効活用されていないと考える。世界遺産（文化）のPRにも重要な案件と考える。	1. 金泉小学校の活用方針 廃校後の利活用を庁内で検討している。 行政目的の活用がない場合は、民間での利活用を模索していく。  2. 公共用地跡地 ①旧相川町役場跡地は民間への売却に向けた作業を進めており、令和8年度の売却を予定している。 ②旧警察官舎跡地は県有地だったが、既に民間に売却済みと承知している。  旧ワイドブルーあいかわは、譲渡した民間企業において今後の活用を検討されている状況である。（相川支所回答）	教育総務課 財産管理課 総合政策課
(相川米屋町)	弥十郎駐車場の拡張をお願いしたい。佐渡世界遺産登録から1年が経過し、2分団京町通り散策や周辺施設等利用者の駐車スペース確保が急務と感じている。 佐渡市の今後の計画を教えていただきたいですし、計画がなければ駐車スペースの確保を要望する。	弥十郎駐車場整備条件が当初の計画から変更となったことを受け、駐車場整備計画は令和6年度に事業中止となっている。 現在の使用状況等を踏まえると、駐車スペースは現状で充足していると判断しているため、現状を維持していく方針である。（相川支所回答）	財産管理課
(相川下戸炭屋浜町)	4月に東京からUターンしてきた。相川下戸に家を買いたリノベーション中で、循環型社会に関する学びの場をつくりたいと思っている。 エネルギー・モノができるだけ循環する社会。半農半Xで生きる人が食べていける社会（佐渡）の実現のために余生20年を考えて行動を起こして広げてつなげて、行きたいと思っている。 食糧自給率アップ、食糧安全保障の観点からも、農業人口を増やしたいが、農業を始めるにはハードルが高い（都会の）若者も半農半Xから始められる。 それが第6次産業となって企業に勤めるから個人事業主になる若者に手厚い支援とそれが学べるプラットフォームをつくり、高齢者が大事にされ安心して暮らせる町、みんなで管理し作り、食べる場がある町、歩いて20分で用が足りる町、そんな町（村）に住みたい。	空き家を利活用して学びの場をつくり、その活動を通じて地域の人材教育・育成等に貢献いただけることに感謝します。佐渡市が進める持続可能な島づくりで、半農半Xなライフスタイルは、佐渡で暮らす私たちにとって農業への関心や食糧自給率、食の安全安心などの観点からと、元気な地域経済の確立からも重要と考え、島づくりの根幹に位置付けている。 佐渡で生まれた子どもたちに、佐渡を好きになってもらい、佐渡で安心して働き暮らせるための地域教育を進めるとともに、健康寿命日本一を目指し生涯学び活躍できる環境を整え、元気な高齢者を増やすことが、持続可能な島づくりに向けて重要と考えている。 これからの島づくりに向けて、地域と一緒にになって考え取り組み、次世代へと引き継いでいく所存ですので、ご理解とご協力をお願いしたい。（相川支所回答）	総合政策課 移住交流推進課 農業政策課 高齢福祉課